

ゴールデンウィークの有意義な過ごし方を考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. (1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
(2)いよいよ今年もゴールデンウィークが始まります。そこで今日は、ゴールデンウィークの有意義な過ごし方についてお話させていただきます。
2. 気候がよくて自然が美しいのが4月の下旬からゴールデンウィークにかけてです。栃木県はじめ、群馬県や茨城県では、県のイベントや市のイベント、町のイベントなど各市町村で様々なイベントがたくさんあると思います。この CRT 栃木放送を聴きながら、また、新聞や地元のミニコミ誌などを見て、「今日のイベントは何か」と探して参加していただくのも素晴らしい過ごし方だと思います。
3. 栃木県と群馬県には海がありませんので、山や川など自然に親しむことも素晴らしいと思います。茨城県には山や川だけではなく海もあり素晴らしいですね。北関東自動車道を利用して、家族や友人の皆様と一緒に茨城県の海に行くのも素晴らしい過ごし方だと思います。1人でもよいですし誰かと一緒にでもよいですので、自然に親しむハイキングなどに出掛けていただければと思います。
4. また、栃木県内や群馬県内、茨城県内には美術館や博物館、科学館、神社、お寺がたくさんあり、この期間には楽しいイベントやお祭りをいろいろなところでやっていますので、そういうところに出掛けて3つの県の地元の歴史や文化、伝統に親しむのも素晴らしいと思います。せっかくのゴールデンウィークですので、何日かはそのように過ごしていただければと思います。
5. 「開倫塾の時間」は効果の上がる「学習の仕方」についての番組ですので、ここからは少し勉強の話をお話させていただきます。ゴールデンウィークの中頃の5月3日は憲法記念日です。参議院選挙が7月か8月に行われると予想されますので、それが行われる前後に各政党が憲法についてたくさん議論をすると思います。新聞やいろいろな報道でもかなり本格的に憲法を話題にすると思いますので、5月3日の憲法記念日の前あたり、ちょうど今日か明日くらいの新聞等をよく読んでいただきたいと希望します。そこでは、日本国憲法とは一体どのような憲法なのか・もし改正をするとなった場合はどこをどのように現代的に直したらよいのか・または直さないほうがよいのかなどが話題になると思います。そこで、ぜひ一年に1回くらいは日本国憲法の全文を第1条から最後まで声

を出して読んでみることをお勧めします。新聞やいろいろな報道等をよく聞いたり見たり読んだりして日本国憲法についての御自分のお考えを作っていただくことが、日本国の公民、日本国の主権者である日本国民として大切な過ごし方だと思います。

6. 次に、受験生の皆さんや小学生・中学生・高校生・大学生の皆さんにゴールデンウィーク中の「学習の仕方」についてお話させていただきます。

7. おそらくどの学校でも5月に入ってしばらくすると、また6月に入ると1学期の定期テストが行われます。定期テストでよい点数を取るためには、1学期の最初の定期テストの範囲にあたる教科書などをゴールデンウィーク中に予習しておく、素晴らしい勉強になります。まだ教科書を予習していない方はゴールデンウィークが終わるくらいまでに、具体的にいうと、できれば5月6日(月)までに1学期の第1回目の定期テストの範囲の教科書を読んでおくことをお勧めします。得意科目については、学校で使う教材、つまり問題集やワークもテスト範囲について少しずつ、本音を言えばすべてやっておくこともよいと思います。

8. また、ゴールデンウィークは少し時間がありますので、ぜひ読書もしていただきたいと思います。最低でも1冊くらいは本を読む、元気な方はゴールデンウィーク中に2冊・3冊と読んでいただければと思います。本屋さんに行ったり図書館に行ったりすると、ためになる本や読みやすい本が山ほどあります。私のお勧めは新書本と文庫本です。新書本は昔からの岩波新書はじめいろいろな新書がありますが、今の新書は昔と違って文字数も少なくて非常に読みやすいです。また、文庫本も昔からの岩波文庫や角川文庫、新潮文庫はじめいろいろな文庫本があります。昔のものと比べると字も少し大きいので文庫本も読みやすいです。ぜひ、新書本1冊と、文庫本1冊くらいをお読みいただいて、充実したゴールデンウィークをお過ごしいただければと思います。

9. もう1つ付け加えさせていただきます。来週の4月29日(月)に、私が会長を仰せつかっている開倫ユネスコ協会主催の「第14回KAIRIN杯ドッジボール大会」があります。小学校や中学校でドッジボールをやっている方でしたら誰でも参加できます。今年は71チームもの参加があり、栃木県佐野市の運動公園で午前8時30分から開かれます。71チームの参加ですので、選手だけでも約1500名、保護者の方を含めると約2500名～3000名くらいの非常に大きな大会になると思われます。また、2013年度の新年度に入ってこの地域で最初のドッジボール大会ということもあり、栃木県だけでなく群馬県や茨城県・埼玉県・福島県・東京都のチームからも参加の申し込みがありました。「ドッジ」というのは「よける」という意味ですので、運動神経のよい方もそうでない方も練習さえすれば手軽に楽しめるスポーツです。ドッジボールと聞くと懐かしい響きだと感じる方もいらっしゃると思いますが、今も子どもたちに人気のあるスポーツです。放送をお聴きの皆様も御参加いただければ有難く思います。また、ドッジボールの審判の仕方についての講習会もあります。審判になりたい方は当日でも大丈夫ですので、ぜひ御参加いただきたいと思います。

— 2013年7月4日加筆・訂正、林明夫 —